

Our Future

夢と希望が輝く中学校へ

浜岡中学校の新校舎図鑑

vol. 7 特別支援教室



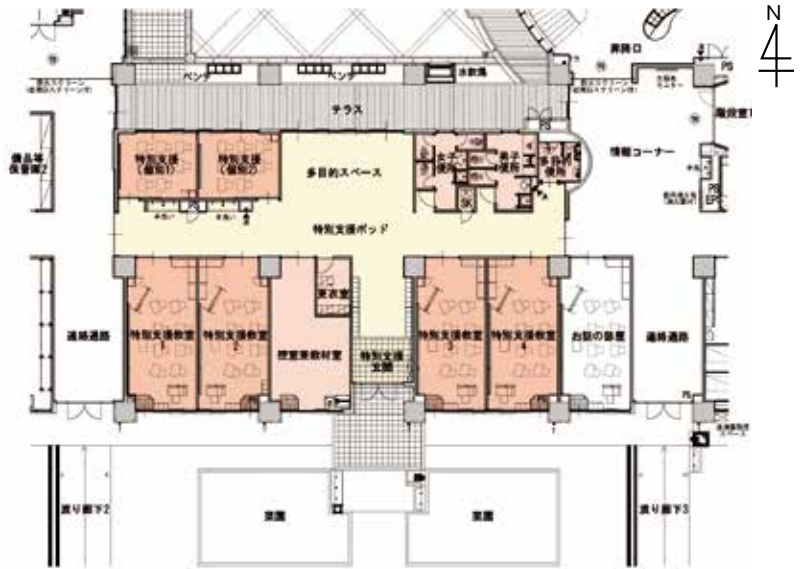
藤井紗希 ▶
佐藤工業(株)・建築担当

今回は、特別支援教室を紹介します。特別支援教室は、1階南側の明るく日当たりのよい場所に配置しました。扉を開くと静かな落ち着いた空間が広がります。

教室の前の廊下は他の生徒の動線と交差しない作りとし、個別の学習や指導に対応できる個室も設け、安心して学校生活を送ることができる配置となっています。

教室は普通教室をコンパクトにした作りで、電子黒板や個別ロッカーを設置。ICTを利用することできめ細かな学習を実現できます。

教室から直接外に出ることができるように外部との動線にも配慮し、教室前の菜園では屋外活動を楽しめます。次回は職員室について紹介します。



照 会 教育総務課 ☎0537②8733

御前崎市原子力災害広域避難計画では、原子力災害が単独で発生した場合の避難先を浜松市、大規模地震との複合災害などで浜松市に避難できない場合の避難先を長野県に設定しています。現在、避難先の市町村を確定させるため、関係機関と調整を行っております。

自家用車による避難を原則としていますが、それが困難な人は、市内8カ所に設置する一時集合場所から、市が準備したバスに乗り避難をすることになります。

避難する際には、避難退域時検査場所を通過し、あらかじめ定められた避難先市町村の避難経由所に向かいます。そこで避難者名簿の作成や避難所の振り分けをします。避難所の振り分けは、町内会単位を基本とし、地域コミュニティが確保できるように検



▲避難経由所で避難所を振り分ける

討しています。

現在、長野県内の避難経由所が確定していないことや避難経路での燃料確保、降雪対策などさまざまな課題が残っています。市では引き続き、検討および関係機関との協議を重ね実効性向上に努めます。長野県の避難経由所が確定した時点で、利用する避難経由所の町内会ごとの割り振りなどを市民の皆さまに周知する予定です。

Atomic

暮らしと原子力

御前崎市原子力災害広域避難計画
〜避難開始編〜
②